



平成27年3月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成26年10月29日

上場会社名 川崎重工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7012 (URL <http://www.khi.co.jp/>)
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村山 滋
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森 亮二 TEL (03) 3435 - 2130
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日 ~ 平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	633,422	6.4	23,189	△13.6	25,963	13.9	18,185	39.8
26年3月期第2四半期	595,077	3.4	26,840	158.2	22,788	13.0	13,001	4.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 21,181百万円 (△29.2%) 26年3月期第2四半期 29,949百万円 (190.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	10.87	-
26年3月期第2四半期	7.77	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,630,986	382,542	22.5
26年3月期	1,554,430	376,686	23.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 368,194百万円 26年3月期 363,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	3.00			
27年3月期(予想)			—	5.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,510,000	8.9	77,000	6.4	72,000	18.8	48,000	24.3	28.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	1,671,892,659株	26年3月期	1,671,892,659株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	163,053株	26年3月期	141,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	1,671,741,376株	26年3月期2Q	1,671,782,411株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想と異なる結果となることがあります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成26年10月29日(水)に、機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する四半期決算説明資料につきましては、決算発表と同時にT D n e t及び当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
(1) 受注及び販売の状況	12
(2) 地域別売上高	13
(3) 平成27年3月期 連結業績見直し補足資料	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界経済は、回復基調にある米国経済を中心に、緩やかな成長が見込まれますが、足元においては、ユーロ圏や新興国における景気停滞懸念や米国の金融緩和縮小、さらには地政学的緊張の高まりなどに起因する景気下振れリスクを抱えており、注視すべき状況となっています。

国内経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、夏の天候不順の影響から、個人消費の回復に時間を要しており、先行きがやや不透明な状況となっていますが、高水準で推移する公共投資や、雇用・所得環境の改善などに支えられ、次第に回復へ向かうと予測されます。また、今後は、急激な為替変動による影響や、さらなる消費税率引上げを巡る動向に留意が必要と考えられます。

このような経営環境の中で、当第2四半期における当社グループの受注高は、船舶海洋事業やプラント・環境事業などを中心に増加した結果、全体では大幅な増加となりました。売上高については、船舶海洋事業や車両事業などで減収となったものの、航空宇宙事業が大幅に増収となったことなどにより、全体では増加しました。営業利益については、航空宇宙事業や精密機械事業で増益となりましたが、車両事業や船舶海洋事業、ガスタービン・機械事業などで減益となり、全体では減益となりました。

この結果、当社グループの連結受注高は前年同期比1,137億円増の7,065億円、連結売上高は前年同期比383億円増の6,334億円となりましたが、営業利益は売上構成の変動による利益率の低下などにより、前年同期に比べ36億円減益の231億円となりました。経常利益は為替差損の減少などにより、前年同期比31億円増益の259億円、四半期純利益は、税金費用の減少が加わり前年同期比51億円増益の181億円となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結セグメント別業績の概要は以下のとおりです。

(単位：億円)

報告セグメント	当第2四半期 連結累計期間 (26年9月期)		前第2四半期 連結累計期間 (25年9月期)		増 減		(参考) 受注高		
	売上高	営業 損益	売上高	営業 損益	売上高	営業 損益	当第2	前第2	増 減
							四半期連結 累計期間	四半期連結 累計期間	
船舶海洋	348	△7	395	15	△46	△22	771	307	464
車両	569	12	599	37	△30	△25	915	750	165
航空宇宙	1,448	135	1,223	102	224	33	1,144	961	183
ガスタービン ・機械	838	14	773	35	65	△20	859	841	18
プラント・環境	472	10	392	17	80	△7	669	461	207
モーターサイクル &エンジン (注) 2	1,377	10	1,397	25	△19	△15	1,377	1,397	△19
精密機械	637	51	556	42	81	8	648	617	30
その他	641	12	612	13	29	△1	678	590	87
調整額	—	△7	—	△21	—	13	—	—	—
合 計	6,334	231	5,950	268	383	△36	7,065	5,928	1,137

(注) 1. 売上高は、外部顧客に対する売上高。

2. モーターサイクル&エンジン事業については、主として見込み生産を行っていることから、受注高について売上高と同額として表示している。

船舶海洋事業

連結受注高は、LNG運搬船2隻、LPG運搬船1隻を受注した結果、前年同期に比べ464億円増の771億円となりました。

連結売上高は、LNG運搬船の建造量は増加したものの、LPG運搬船やばら積み船などの建造量が減少し、前年同期に比べ46億円減収の348億円となりました。

営業損益は、売上の減少などにより前年同期に比べ22億円悪化し、7億円の営業損失となりました。

車両事業

連結受注高は、シンガポールLand Transport Authority新線向け地下鉄電車などを受注した結果、前年同期に比べ165億円増の915億円となりました。

連結売上高は、北米やアジア向け等の海外向け売上が減少したことなどにより、前年同期に比べ30億円減収の569億円となりました。

営業利益は、売上の減少や利益率の低下などにより前年同期に比べ25億円減益の12億円となりました。

航空宇宙事業

連結受注高は、防衛省向けやボーイング社向け787分担製造品の受注が増加し、前年同期に比べ183億円増の1,144億円となりました。

連結売上高は、防衛省向けやボーイング社向け787分担製造品が増加したことなどにより、前年同期に比べ224億円増収の1,448億円となりました。

営業利益は、売上の増加などにより前年同期に比べ33億円増益の135億円となりました。

ガスタービン・機械事業

連結受注高は、産業用ガスタービンや天然ガス圧送設備などの受注が増加し、前年同期に比べ18億円増の859億円となりました。

連結売上高は、水力機械や航空エンジン分担製造品などの増加により、前年同期に比べ65億円増収の838億円となりました。

営業利益は、売上は増加したものの、航空エンジン新規プログラムの開発費償却や研究開発費などの増加により前年同期に比べ20億円減益の14億円となりました。

プラント・環境事業

連結受注高は、ボイラ発電設備案件や土木機械の受注が増加し、前年同期に比べ207億円増の669億円となりました。

連結売上高は、海外向けプラント案件が増加したことなどにより、前年同期に比べ80億円増収の472億円となりました。

営業利益は、売上は増加したものの、利益率の低下などにより前年同期に比べ7億円減益の10億円となりました。

モーターサイクル&エンジン事業

連結売上高は、インドネシア向けや欧州向け二輪車は増加したものの、中南米向けやタイ向けが減少した結果、前年同期に比べ19億円減収の1,377億円となりました。

営業利益は、売上の減少や利益率の低下などにより、前年同期に比べ15億円減益の10億円となりました。

精密機械事業

連結受注高は、自動車産業向けロボットの増加、国内の建機市場向け油圧機器の増加などにより、前年同期に比べ30億円増の648億円となりました。

連結売上高は、自動車産業向けロボットの増加、国内の建機市場向け油圧機器の増加などにより、前年同期に比べ81億円増収の637億円となりました。

営業利益は、売上の増加などにより、前年同期に比べ8億円増益の51億円となりました。

その他事業

連結売上高は、前年同期比29億円増収の641億円となりました。

営業利益は、前年同期比1億円減益の12億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、手持ち工事の進捗に伴う棚卸資産の増加や設備投資による有形固定資産の増加などにより、前期末比765億円増の1兆6,309億円となりました。負債は、支払手形及び買掛金が減少したものの、コマーシャル・ペーパー等有利子負債の増加などにより、前期末比706億円増の1兆2,484億円となりました。有利子負債は、前期末比966億円増の5,412億円となりました。純資産は、四半期純利益の計上や配当金の支払などにより、前期末比58億円増の3,825億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く経済環境は、ユーロ圏や新興国における先行きの不透明感はあるものの、堅調に推移しております。また、為替相場は当初想定よりも円安に推移しており、こうした経営環境を踏まえ当年度の業績見通しを見直した結果、連結売上高は前回公表値から200億円増加の1兆5,100億円、利益面は、二輪車における新興国の利益率低下に伴い減益となるものの、全体としては円安の影響などにより、連結営業利益は40億円増加の770億円、連結経常利益は60億円増加の720億円、連結当期純利益は55億円増加の480億円となる見通しです。

連結受注高は、プラント・環境事業における海外大口案件の内定などにより、前回公表値から500億円増加の1兆6,400億円となる見通しです。

なお、本業績見通しにおける為替レートは、1ドル=105円、1ユーロ=135円を前提としております。

連結業績予想の上方修正に伴い、配当予想を前回公表値より1株あたり年間1円増額し、年間配当金は1株あたり8円（中間3円、期末5円）を予定しております。

(業績等の予想に関する注意事項)

上記の業績見通しは、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しにのみ依拠して投資判断を下すことはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算している。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示している。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,949	37,187
受取手形及び売掛金	415,664	410,291
商品及び製品	56,673	58,844
仕掛品	302,511	343,607
原材料及び貯蔵品	98,848	106,999
その他	87,211	107,264
貸倒引当金	△3,104	△2,939
流動資産合計	1,005,754	1,061,255
固定資産		
有形固定資産	383,912	401,304
無形固定資産	17,262	16,824
投資その他の資産		
その他	148,210	152,460
貸倒引当金	△710	△858
投資その他の資産合計	147,500	151,601
固定資産合計	548,675	569,730
資産合計	1,554,430	1,630,986
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	252,107	209,887
電子記録債務	53,923	72,500
短期借入金	190,757	154,688
未払法人税等	10,100	6,481
賞与引当金	22,118	17,637
受注工事損失引当金	13,560	9,364
その他の引当金	10,535	9,708
前受金	137,598	151,777
その他	104,714	200,737
流動負債合計	795,415	832,782
固定負債		
社債	110,000	120,000
長期借入金	141,343	165,117
引当金	4,064	3,355
退職給付に係る負債	97,048	95,746
その他	29,871	31,441
固定負債合計	382,328	415,661
負債合計	1,177,744	1,248,443

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	104,484	104,484
資本剰余金	54,393	54,393
利益剰余金	217,449	220,811
自己株式	△43	△51
株主資本合計	376,284	379,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,652	3,058
繰延ヘッジ損益	△3,803	△2,883
為替換算調整勘定	6,416	5,902
退職給付に係る調整累計額	△18,509	△17,520
その他の包括利益累計額合計	△13,243	△11,443
少数株主持分	13,645	14,348
純資産合計	376,686	382,542
負債純資産合計	1,554,430	1,630,986

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	595,077	633,422
売上原価	486,913	526,539
売上総利益	108,164	106,883
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	22,290	23,689
研究開発費	18,187	18,016
貸倒引当金繰入額	332	—
その他	40,512	41,987
販売費及び一般管理費合計	81,323	83,693
営業利益	26,840	23,189
営業外収益		
受取利息	475	292
受取配当金	275	176
持分法による投資利益	5,016	5,739
その他	1,850	2,214
営業外収益合計	7,617	8,422
営業外費用		
支払利息	2,018	1,894
為替差損	7,583	646
その他	2,067	3,108
営業外費用合計	11,669	5,648
経常利益	22,788	25,963
税金等調整前四半期純利益	22,788	25,963
法人税等	8,777	6,511
少数株主損益調整前四半期純利益	14,010	19,451
少数株主利益	1,008	1,266
四半期純利益	13,001	18,185

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,010	19,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,231	429
繰延ヘッジ損益	△817	959
為替換算調整勘定	7,084	3,555
退職給付に係る調整額	320	802
持分法適用会社に対する持分相当額	8,119	△4,016
その他の包括利益合計	15,938	1,730
四半期包括利益	29,949	21,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,181	19,985
少数株主に係る四半期包括利益	1,767	1,196

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,788	25,963
減価償却費	17,931	21,530
引当金の増減額 (△は減少)	△7,672	△10,717
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△4,067	△603
受取利息及び受取配当金	△750	△468
支払利息	2,018	1,894
持分法による投資損益 (△は益)	△5,016	△5,739
売上債権の増減額 (△は増加)	24,269	4,990
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△40,461	△40,597
仕入債務の増減額 (△は減少)	△37,953	△23,713
前受金の増減額 (△は減少)	12,165	12,514
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△11,457	△18,523
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△10,961	△16,628
その他	825	2,665
小計	△38,342	△47,433
利息及び配当金の受取額	740	486
利息の支払額	△2,134	△2,071
法人税等の支払額	△5,868	△11,788
営業活動によるキャッシュ・フロー	△45,605	△60,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△41,576	△28,757
有形及び無形固定資産の売却による収入	541	471
投資有価証券の取得による支出	△36	△49
投資有価証券の売却による収入	86	2
関連会社株式の取得による支出	△721	△472
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△527	△42
長期貸付けによる支出	△28	△33
長期貸付金の回収による収入	46	94
その他	308	△919
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,907	△29,707
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	86,616	105,340
長期借入れによる収入	7,000	37,019
長期借入金の返済による支出	△23,652	△73,379
社債の発行による収入	20,000	20,000
自己株式の純増減額 (△は増加)	△7	△9
配当金の支払額	△8,344	△10,006
少数株主への配当金の支払額	△436	△487
その他	△192	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	80,983	78,398
現金及び現金同等物に係る換算差額	△699	227
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,229	△11,889
現金及び現金同等物の期首残高	36,971	45,431
連結子会社の会計期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	804	122
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,546	33,664

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	船舶海洋 事業	車両事業	航空宇宙 事業	ガスター ビン・ 機械事業	プラント ・環境 事業	モーター サイクル &エンジ ン事業	精密機械 事業	その他 事業	報告 セグメント 計	調整額 (注1)	連結
売上高											
(1) 外部顧客への 売上高	39,550	59,990	122,354	77,368	39,241	139,705	55,636	61,229	595,077	—	595,077
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	921	1,455	1,035	8,457	8,083	313	5,615	16,472	42,354	△42,354	—
計	40,471	61,445	123,389	85,826	47,325	140,018	61,252	77,701	637,431	△42,354	595,077
セグメント利益 又は損失(△)	1,543	3,752	10,279	3,509	1,705	2,592	4,244	1,382	29,009	△2,169	26,840

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりである。

(単位:百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	△125
全社費用(注)	△2,044
合計	△2,169

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	船舶海洋 事業	車両事業	航空宇宙 事業	ガスター ビン・ 機械事業	プラント ・環境 事業	モーター サイクル &エンジ ン事業	精密機械 事業	その他 事業	報告 セグメント 計	調整額 (注1)	連結
売上高											
(1) 外部顧客への 売上高	34,876	56,915	144,842	83,896	47,245	137,728	63,774	64,143	633,422	—	633,422
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	909	923	1,181	4,917	7,534	349	6,878	15,727	38,422	△38,422	—
計	35,786	57,839	146,024	88,814	54,779	138,077	70,652	79,870	671,844	△38,422	633,422
セグメント利益 又は損失(△)	△708	1,201	13,593	1,495	1,005	1,052	5,129	1,218	23,988	△799	23,189

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりである。

(単位:百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	△25
全社費用(注)	△774
合計	△799

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

<受注高>

(単位：百万円、%)

報告セグメント	前第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		前連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	30,732	5.1	77,192	10.9	117,872	8.0
車両	75,073	12.6	91,598	12.9	133,049	9.1
航空宇宙	96,168	16.2	114,489	16.2	286,383	19.6
ガスタービン・機械	84,157	14.1	85,964	12.1	222,013	15.2
プラント・環境	46,185	7.7	66,954	9.4	103,912	7.1
モーターサイクル&エンジン	139,705	23.5	137,728	19.4	322,248	22.1
精密機械	61,724	10.4	64,801	9.1	127,297	8.7
その他	59,056	9.9	67,848	9.6	142,684	9.8
合 計	592,804	100.0	706,576	100.0	1,455,462	100.0

(注) モーターサイクル&エンジン事業については、主として見込み生産を行っていることから、受注高について売上高と同額として表示している。

<売上高>

(単位：百万円、%)

報告セグメント	前第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		前連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	39,550	6.6	34,876	5.5	80,863	5.8
車両	59,990	10.0	56,915	8.9	147,951	10.6
航空宇宙	122,354	20.5	144,842	22.8	280,737	20.2
ガスタービン・機械	77,368	13.0	83,896	13.2	189,241	13.6
プラント・環境	39,241	6.5	47,245	7.4	103,898	7.4
モーターサイクル&エンジン	139,705	23.4	137,728	21.7	322,248	23.2
精密機械	55,636	9.3	63,774	10.0	123,276	8.8
その他	61,229	10.2	64,143	10.1	137,264	9.9
合 計	595,077	100.0	633,422	100.0	1,385,482	100.0

<受注残高>

(単位：百万円、%)

報告セグメント	前連結会計年度末 (平成26年3月31日)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成26年9月30日)		前第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	161,134	10.7	209,135	13.0	113,830	8.1
車両	364,654	24.3	409,981	25.5	383,117	27.5
航空宇宙	450,581	30.0	425,571	26.5	413,478	29.7
ガスタービン・機械	295,100	19.6	305,877	19.0	248,670	17.9
プラント・環境	170,737	11.3	191,287	11.9	176,711	12.7
モーターサイクル&エンジン	—	—	—	—	—	—
精密機械	25,821	1.7	26,848	1.6	27,887	2.0
その他	32,234	2.1	35,934	2.2	24,626	1.7
合 計	1,500,264	100.0	1,604,637	100.0	1,388,323	100.0

(2) 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
263,067	131,578	40,393	106,470	53,567	595,077
44.2%	22.1%	6.7%	17.8%	9.0%	100.0%

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

(単位:百万円)

日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
258,659	153,779	48,525	115,455	57,002	633,422
40.8%	24.2%	7.6%	18.2%	8.9%	100.0%

(3) 平成27年3月期 連結業績見通し補足資料

1. 全社見通し

(単位 億円)

	27年3月期見通し			26年3月期実績
	今回	7月30日見通し	増減	
売上高	15,100	14,900	200	13,854
営業利益	770	730	40	723
経常利益	720	660	60	606
当期純利益	480	425	55	386
受注高	16,400	15,900	500	14,554
ROIC(税引前)	9.3%	8.6%	0.7%	8.1%

(注) ・平成27年3月期見通し前提為替レート：105円/USD、135円/EUR

・ROIC(税引前) = (税引前利益 + 支払利息) ÷ 投下資本

2. 報告セグメント別見通し

(a) 売上損益

(単位 億円)

報告セグメント	27年3月期見通し						26年3月実績	
	今回		7月30日見通し		増減		売上高	営業損益
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益		
船舶海洋	950	20	850	0	100	20	808	△20
車両	1,350	60	1,350	60	—	—	1,479	75
航空宇宙	3,300	300	3,200	270	100	30	2,807	262
ガスタービン・機械	2,300	100	2,300	90	—	10	1,892	104
プラント・環境	1,200	60	1,200	60	—	—	1,038	63
モーターサイクル&エンジン	3,200	130	3,200	160	—	△30	3,222	161
精密機械	1,400	120	1,400	120	—	—	1,232	104
その他	1,400	50	1,400	40	—	10	1,372	44
調整額		△70		△70		—		△72
合計	15,100	770	14,900	730	200	40	13,854	723

(b) 受注高

(単位 億円)

報告セグメント	27年3月期見通し			26年3月実績
	今回	7月30日見通し	増減	
船舶海洋	1,500	1,500	—	1,178
車両	1,500	1,800	△300	1,330
航空宇宙	3,100	3,000	100	2,863
ガスタービン・機械	2,400	2,300	100	2,220
プラント・環境	1,900	1,300	600	1,039
モーターサイクル&エンジン	3,200	3,200	—	3,222
精密機械	1,400	1,400	—	1,272
その他	1,400	1,400	—	1,426
合計	16,400	15,900	500	14,554

(c) ROIC(税引前)

(単位 %)

報告セグメント	27年3月期見通し			26年3月期実績
	今回	7月30日見通し	増減	
船舶海洋	5.4	0.2	5.2	3.4
車両	7.9	7.9	—	10.2
航空宇宙	20.8	17.7	3.1	19.6
ガスタービン・機械	5.2	5.1	0.1	4.6
プラント・環境	13.5	13.5	—	14.9
モーターサイクル&エンジン	7.0	9.2	△2.2	1.4
精密機械	17.9	16.8	1.1	17.5
合 計	9.3	8.6	0.7	8.1